

(別紙5)

補助事業番号 27-2-011  
補助事業名 平成27年度 お年寄りが幸せに暮らせる社会を創る活動 補助事業  
補助事業者名 公益財団法人 認知症予防財団

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

認知症の予防、治療に関わる啓発事業を進め、もって社会福祉の増進に寄与する

### (2) 実施内容

#### 1) 認知症入門ハンドブックの編集と発行

データベース化された電話相談記録票を活用するため統計分析法検討委員会を平成27年は6月と10月の2回開催し、認知症入門ハンドブックシリーズの続編として3、4の2冊同時刊行と、調査研究報告書2の刊行が決まった。



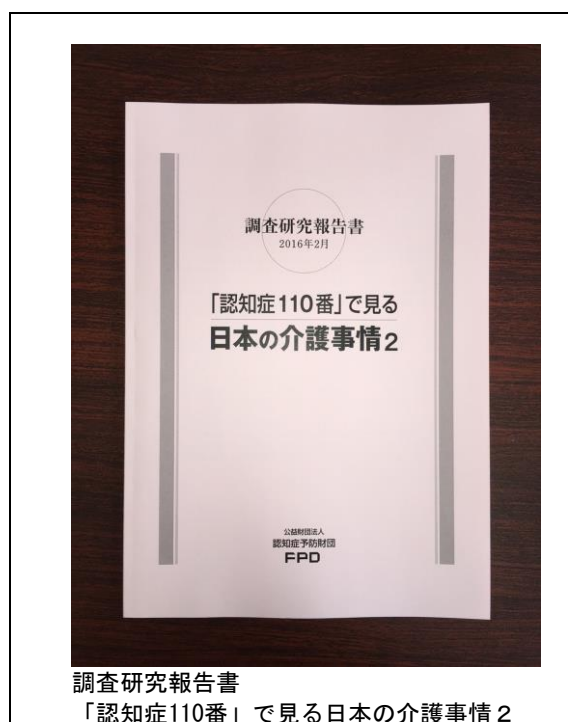
上記の統計分析法検討委員会の方針に添い、ハンドブック編集班の4人が7、8、9月の3回、財団事務所に集まって編集会議を行い、たたき台を執筆製作。ブックデザイナーやイラストレーターによる試作品をさらに練り上げ、11月末に認知症入門ハンドブックシリーズ3、4の2冊を同時刊行した。



認知症ハンドブックシリーズの3、4

## 2) 調査研究報告書の編集と発行

調査研究報告書は田中元基担当委員が財団事務局と統計分析委託先の山手情報処理センターと緊密な連絡を取りながら12～3月に渡り原稿執筆、グラフの制作、紙面レイアウトのすべてを同時並行で行い3月10日、「認知症110番」で見る日本の介護事情2を刊行した。



調査研究報告書  
「認知症110番」で見る日本の介護事情2

(別紙5)

## 2 予想される事業実施効果

ハンドブックは初めて2冊同時刊行したことで4冊がそろい、シリーズとしての体系になってきた。このため毎日新聞や財団報「新時代」等で3, 4の刊行を知った読者から1, 2を含め全冊そろえたいという要望が多数寄せられた。平成28年度も自主事業として継続し、5, 6冊目まで刊行し合本または6冊のシリーズ本として希望者に送りたい。

調査研究報告書は、初年度の平成25年度は相談者と介護対象者の基本データによる統計分析、2年目は相談内容も含めた統計分析、3年目は統計数字よりも相談と助言の具体例を豊富に盛り込み、ハンドブックの中身とリンクする形に収まった。研究者や介護現場でも関心のある「息子の介護事情」「在宅か施設か」などトレンドイヤーな切り口で続編を刊行したい。

## 3 本事業に係る成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

(ハンドブック)

＝財団ホームページのトピックス「認知症ハンドブック好評」(2016年3月)

### ほかで紹介

(URL) [http://www.mainichi.co.jp/ninchishou/topics/2015\\_12\\_1.html](http://www.mainichi.co.jp/ninchishou/topics/2015_12_1.html)  
[http://www.mainichi.co.jp/ninchishou/topics/2016\\_3\\_2.html](http://www.mainichi.co.jp/ninchishou/topics/2016_3_2.html)  
[http://www.mainichi.co.jp/ninchishou/topics/2016\\_04\\_5.html](http://www.mainichi.co.jp/ninchishou/topics/2016_04_5.html)

(調査研究報告書)

財団報「新時代」や財団ホームページで随時紹介する予定。

## 4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人 認知症予防財団 (ニンチショウヨボウザイダン)

住所： 〒100-8051

東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞社内

代表者： 理事長 朝比奈 豊 (アサヒナ ユタカ)

担当部署： 事務局

担当者名： 事務局長 紀平 重成 (キヒラ シゲナリ)

電話番号： 03 - 3216 - 4409

F A X： 03 - 3216 - 3620

E - m a i l： [fpd@orion.ocn.ne.jp](mailto:fpd@orion.ocn.ne.jp)

U R L： <http://www.mainichi.co.jp/ninchishou/>